

11.21 CIM 解決研究会第 31 回勉強会のご報告

平成 29 年 11 月 21 日

CIM 解決研究会事務局

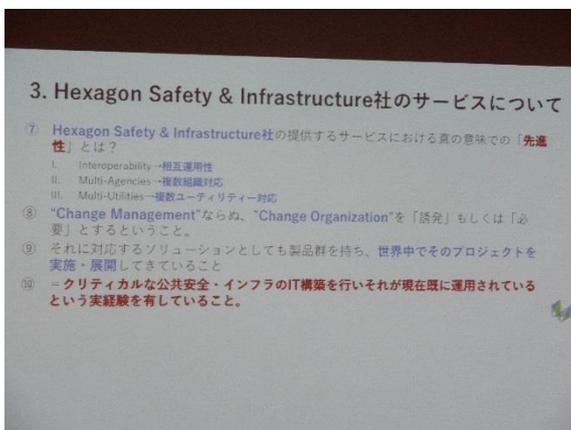
去る紀尾井フォーラムにおいて、39 名の参加者を得て第 31 回の CIM 解決研究会勉強会が開催されました。

勉強会冒頭では、(株)ZnO ラボ代表取締役の山田晃夫参事よりご挨拶を頂きました。



「スマート・ユーティティティーソリューション」:ヘキサゴン G/テクノロジーのご紹介」 (株)フィックスギャップス 疋田彰宏様

ヘキサゴングループの概要紹介、並びに電気や水道、ガスといったライフラインの設計・管理に対するソリューションについてのお話を頂きました。参加者の方からは「海外のソリューションが日本文化組織にどこまでハマるか気になります。」といった感想を頂きました。



「CIM(維持・管理)におけるGISの役割とSuperMapの取り組み」 日本スーパーマップ(株) 平野あや様

2D・3D 一体化の GIS システムの活用により、広域に点在するデータの一元管理や、大容量データのファイルサイズを半減させることによる高速表示が可能になるといった事例の紹介を頂きました。参加者の方からは「使用用途にバリエーションがあり、業務につながるのではないか。」といった感想を頂きました。



「現場の3次元化事例等」 当会 福士幹雄、齊藤学一

福士からは、前回実況中継を行った現場に関するその後の報告や、携わったICT工事の完成PVに関するお話をさせて頂きました。齊藤からは、次回以降の勉強会の日程などに関する報告をさせて頂きました。参加者の方からは「現場の様子、問題等が実際のケースを元にされているので、理解しやすかった。」といった感想を頂きました。



勉強会終了後の懇親会には 21 名の方にご参加いただきました。沢山ご来場頂き有難うございました。

